

教員の長時間労働の 是正



鳴海 圭矢 議員

答 業務改善 ハンドブック活用

問 文科省が4月に発表した調査によれば、2016年度の公立小中学校の教員の勤務時間は10年前に比べて週当たり4、5時間増えている。

答 残業が月80時間以上の過労死ラインに達する教員は、小学校で34%、中学校では58%に上る。これは喫緊の課題ではないかと思う。当町では労働時間の実態調査は行っていないというが、労働時間の実態を把握するべきではないか。

答 学校教育課長 今後、ストレスチェック等の結果を踏まえて改善の必要性を感じた折には十分に検討していきたい。

問 長時間労働の原因になっているものは何か。

答 課長 まずは授業、それに伴う授業の教材研究、放課後のそれぞれの家庭に対する

支援。

また中学校においては平日に限らず、休日なども部活動の指導等で、時間外の勤務が発生している。

問 長時間労働の是正の取組は。

答 課長 公立学校における教職員の超過勤務の縮減に向けた業務改善ハンドブックを活用している。具体的には、月2回の定時退校日の完全実施、あるいは中学校におけるノー部活デーの実施など8項目が示されているが、おおもむね実施ができています。

特別支援教育の支援員を小中学校に12名、部活動の教員外指導員については3中学校で11名を配置している。併せて本年度からストレスチェックを導入。

問 教員不足が深刻であるといわれるが当町での状況はどうなっているのか。

答 課長 本年度も、中学校の教員免許を持つている方に小学校の臨時免許状を發布して、担任についてもらったり工夫をしながら、人材の確保に努めている。

本年度の初めに小学校1校で担任外の講師1名と指導方法工夫改善に関わる講師1名が不足していたが、現在はともに配置できている。

中学校も4月当初1学級増加で、数学の講師が1名不足していたが、その後解消した。

8月末現在、産休に入った代休教員1名と中学校の初任者代替教員の1名の不足があるが人材の確保に努めていく。

問 教育長の考えは？

答 教育長 教職員の勤務時間を少しでも緩和し、業務の適正

化を図るため、支援員や相談員等の配置を行っている。

また、各学校では、会議や研修をスリム化したり、早い時間帯での退庁を促したりしている。

文部科学省では、「働き方改革」について検討が進められている。今後、動向に注視しながら、学校現場の業務の適正化に向けて研究していく。

◆国保の広域化でどうなるのか



職員室の様子

総務建設常任委員会

- 委員長 藤野 莞嗣
 副委員長 脇田 義政
 委員 小林 征男
 委員 藤木 匠
 委員 黒川 悟
 委員 鳴海 圭矢
 委員 時任 裕史

財産活用課

宇美町公共施設再配置計画策定業務

宇美町公共施設等総合管理計画の全体方針を達成するために、平成30年度までに策定する。

29年度は、各種資料、データの収集整理。

また、住民アンケートを実施。次に、建築性能、利用・運営状況等について、施設分析評価を行う。

30年度は、地域の特性に応じた立地性能評価として、交通の利便性や安全性、人口の集積の程度、法規制の指定状況など立地する周辺環境の評

価や施設の再配置の検討を行う。

問 建物の性能、利用運用の評価はどういう基準で評価するのか。

答 現在の利用状況については、各課で、各施設ごとに調査を行う。

建物性能については、公共施設等総合管理計画の調査や、昨年実施した、固定資産台帳の調査時点で、性能や経年の2面から数字を基に整理する。

まちづくり課

ふるさと宇美町応援寄附金

平成28年度寄附金状況はホームページと返礼品のリニューアル前（4月～9月）が2件、2万2,000円。リニューアル後（10月～3月）が137件、480万4,975円。合計139件、482万6,975円。

寄附者の状況は町内7件、県内58件、県外74件、計139件となっている。

返礼品は現在25事業者、101品。主に醤油、お茶、肉が上位に入っている。委託料などの費用は184万8,208円。

問 ホームページのアクセス数は。

答 6,307件のアクセスがあった。

問 将来の寄附金の見込みは。

答 29年度は600万円を見込んでいるが、それを上回る努力をしたい。



ふるさと応援寄附金

農林振興課

薬用作物試験栽培

5農区の代表者が、ミシマサイコとヤマトトウキの栽培について先進地である玄海町の薬用植物栽培研究所で研修。

研修内容は、ミシマサイコは、栽培の作業工程、注意点、肥培管理、種子採取時期と見分け方、苗栽培の時期、方法等。ヤマトトウキは、種子採取時期及び採取方法、選別、保存、苗栽培の時期及び方法等。

ミシマサイコの試験栽培では、現在、早いところで花が咲いている。

問 試験栽培は順調に進んでいるのか。

答 また、商品になった場合出荷されるのか。

答 順調に進んでいる。出荷販売を目指したい。

問 収穫量及び出荷時期は。

答 現在は、試験的な取り組みであり、収穫量や出荷時期等については現段階

では把握できない。製品化を目指したい。



玄海町薬草園での研修